

公益財団法人かすがい市民文化財団広報誌

# FORUM PRESS

春日井の“毎日”を、もっと楽しく！



## Contents

文化や芸術の情報をお届け！

2024.2-4月

- ◆ 中日新聞報道写真展
- ◆ Gentle Forest Jazz Band with 神野美伽 「あの頃の、ビッグバンドと、ブギウギと」

VOL. 113



# 中日新聞報道写真展

PRESS PHOTO  
EXHIBITION



中日新聞報道写真展には、  
中日新聞社に所属する  
カメラマンたちの力作が並びます。  
プロならではのアングルなど、  
こだわりのつまった作品の数々。

次の頁では、カメラマンのおふたりに  
写真を撮った時のことを伺いました。  
どんな人が、どんな風に  
報道写真を撮っているのでしょうか。

公益財団法人かすがい市民文化財団広報誌

# FORUM PRESS

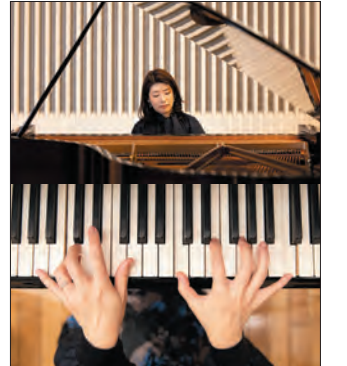
VOL.113  
2024.2-4月

[発行/編集] 公益財団法人かすがい市民文化財団  
[制作] 株式会社リトルクリエイティブセンター

FORUM PRESSは  
みんなの笑顔が  
あふれる広場  
のような広報誌を目指します。

- 01 特集  
**中日新聞報道写真展**  
取材・テキスト＝奥村加奈子・三宅 有
- 04 特集 神野美伽インタビュー  
**Gentle Forest Jazz Band with 神野美伽**  
「あの頃の、ビッグバンドと、ブギウギと」  
取材・テキスト＝奥村加奈子
- 06 特集  
**みんなが楽しい図工の時間**  
取材＝奥村加奈子 テキスト＝浅井南(かすがい市民文化財団 学芸員)
- 08 **子どもと楽しむ! KIDS★PRESS 13**  
[今回のテーマ] ミュージカルを楽しもう! 劇団四季ファミリーミュージカルの魅力
- 10 **FORUM PRESS LIBRARY**  
かすがい市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介
- 11 聴き書き自分史 “もの”語り 大切なもの、教えてください。  
「アメリカ小二重奏曲」の楽譜  
取材・テキスト＝芳賀倫子(日本自史センター相談員) / 語り手＝神戸結花・松原未弥(「ルピナス」フルート奏者)
- 12 **みんなのひろば 12**  
クマカフェマスター ふじもとたくま さん
- 13 **わたしのアトリエ**  
第43回春日井市短詩型文学祭の作品紹介  
短歌・一般の部 市長賞 田本 悠馬さん  
短歌・一般の部 文化協会賞 田本 友佳子さん
- 14 **体験レポート**  
クリスマスワークショップ「スタンドグラス風ランタンを作ろう!」  
市民レポーターがワークショップの様子をレポート! 担当スタッフが語る「よもやまばなし。も。」
- 15 **インフォメーション**
- 16 **あの人と、春日井と**  
**原田綾子 / ピアニスト**  
春日井に何かしら縁のあるアーティストを紹介しています。  
取材・テキスト＝三宅 有

今号の表紙



[モデル]  
原田綾子  
[撮影]  
藤井昌美 / 写真家

展覧会  
情報

**中日新聞報道写真展** スポーツ、くらし、文化、自然…etc.  
様々なジャンルの報道写真を展示!

2024.2.17(土)～3.7(木) **入場無料** 10:00-17:00  
@文化フォーラム春日井・ギャラリー 月曜休館 (最終入場16:45)



この写真を撮ったのは!



中日新聞社  
編集局写真部  
(入社1年目)

記者 **横田 航洋**

この日は朝から、「にっぽんど真ん中祭り」。大須や名古屋駅を回り、久屋大通公園のナイトパレードが最後の現場。ライトアップされた中部電力ミライタワー前の演舞者を捉えた一枚を本社へ送ると、「全景が入ったの

は？」とデスク。急ぎ再撮影するが、引きの絵は背景が曇天の夜空一色になり、「タワー両側が『空白』になってしまいうー」。その時、彼方の空に稲妻が走った。「これだ!」。しかし、今度は稲光と演舞の

「決めポーズ」のタイミングが合わない。締め切り時間が刻々と迫る。演舞チームはラスト一組…。焦る気持ちと対峙しながらシャッターを切り続けた。こうして、「すべてが奇跡的にシンクロした一枚」が撮れた。その年の出来事を写真や映像で振り返る『中

## Memo

入社後3か月間は研修、7月から現場で事件・事故・インタビュー・地域ネタ…などなど撮影。どまつりは8月末。「多くの偶然が重なり運が良いとしか…」と謙遜も、先輩は「持っていることは重要な資質」と称賛!



中部写真記者協会賞 一般ニュース部門優秀賞

## ボルテージ最高潮



部報道展』一般ニュース部門で1年目記者の優秀賞受賞は史上初という。「自分の目で見た真実、現場でしか感じられないディテール(詳細)を写真で伝えたい」と報道写真を志し、昨年4月に実家のある埼玉から名古屋へ。「文化・風習・土地勘:分らないことだらけで調べっぱなし。頭の中はカオス」と事前準備に追われる日々。「時間がきたら下呂温泉へ」と憧れを抱くが、ゆったりお湯につかるのは、当分先になりそうだ。

中部写真記者協会賞 グランプリ

## 世界一の瞬間 歓喜の輪



この写真を撮ったのは!



中日新聞社 編集局写真部  
(入社11年目)

記者 **野村 和宏**



「感謝の一枚です」。WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)優勝を喜ぶ日本チームを撮った時のことを、野村記者はこう振り返る。「中村悠平選手が僕に背中を向けて大谷翔平選手に抱きついてくれたおかげで、大谷選手の表情を撮ることができました」。中日ドラゴンズの担当をしていた際、WBCの撮影に抜擢された。アメリカで開催された準決勝と決勝は孤軍奮闘。海外戦の撮影は初めての経験だった。決勝当日、日本の上司と電話で連絡を取りながら、熱狂するスタジアムで夢中でカメラのシャッターを切り続けた。「誰もが羨むWBC決勝の舞台上で

## Memo

WBC撮影時の野村記者。アメリカのスタジアムでは、望遠レンズ分の重さを増したカメラを一脚に取り付け、体で支えながら撮影するスタイルが主流。首からぶら下げているPCで、撮影した画像はすぐに本社に送信!



## 中部写真記者協会とは?

新聞、通信、放送など東海地方の新聞社や放送局が加盟する団体。1年に1度、協会賞として優れた作品を選出しています。





# MIKA SHIMIZU INTERVIEW

## 神野美伽 「いま」を生きる人々に「あの頃」の曲を届けたい

### 「あの頃」と「いま」 笠置シズ子」と「神野美伽」

「ブギウギ」と聞いてイメージすることは？

「ブギウギ」と言えば、笠置シズ子さん。そして、日本の歌謡曲の礎を築いた作曲家の服部良一さんの存在は欠かせないと思います。

2019年に音楽劇で、笠置シズ子さんを演じていらっしゃるんですね。

笠置シズ子さんに近づくために、残されている資料を読んで役作りをしました。笠置さんの娘さんに会って話を聞いたりね。

その時に感じた、笠置さんとの共通点がありますか？

生きていると色々なことが起こるけど…。振り返ってみると、すべて歌うことに活かしてきました。無駄なことはひとつもなかった。笠置さんも、絶対にそう思って生きていらしたと思います。自分の身に起こることを客観的に捉えて、楽しむことができる人だったのではないでしょう。

か。笠置さんの資料を読めば読むほど、「これ私のこと!」って思っただけです(笑)。

神野さんが思う「ブギ」の魅力とは？

洋楽の「ブギ」と、日本の「ブギ」は全く違うもの。日本の「ブギ」は、笠置シズ子の独特な世界です。笠置さんの突き抜けたリズム感と、表現力こそが、「ブギ」の魅力ではないでしょうか。

服部良一さんの存在も大きかったですね。

あの頃の日本は、アメリカに強い憧れがあった。服部さんも、アメリカの音楽のリズムやフレーズをどんどん取り入れて曲を作っていました。

「ブギウギ」が流行した「あの頃」はどんな時代だったのでしょうか。

生きていることはもちろん、音楽を作ることも、どんなことにも貪欲な時代だったと思います。「あの頃」は、まさに日本の戦前、戦中、戦後。今では想像がつかないほ



ど、精神的にも、物質的にも厳しい時代だったと思います。そんな時代を生きたお二人が残した音楽は、時代に求められた音楽だったと思います。一方で、私たちの生きる現代も、「あの頃」とは違った意味で、厳しい時代だと感じています。コロナ禍を経て、先行きが見えない不安を抱える方も多い。国外に目を向けると、まだ戦争は終わっていません。だから今こそ、笠置さんの曲を歌いたい気持ちが強いです。「あの頃」の人々が求めた音楽の素晴らしさは、きっと「いま」を生きる人々に伝わると確信しています。

### 新たな挑戦で、広がる世界

「ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド(以下ジェントル)」とは、春日井のコンサートが初共演だと伺いました。

彼らの音楽を聴いていると、私が経験しているけど彼らが知らないこと。逆に、彼らが感じているけど、私が見落としていたことがあるなあと感じます。私はずっと歌っていた演歌も、ジェントルさんと一緒に、新しい形の音楽に変えていくことができたらうれしいです。

どんなコンサートになりそうですか？

私は笠置シズ子さんの曲やジャズをメインで歌います。「こんな風に歌いたい」というアイデアを、ジェントルさんにどんどん提案していきたいと思っています。美空ひばりさんの「リンゴ追分」なども歌ってみたいですね。演歌歌手の私とジェントルさんの共演で、どんな化学変化が起きるか私も楽しみにしています。

ジャンルレスなコンサートになりそうですね。

ずっと演歌を歌ってきた私が歌う「ジャズ」や「歌謡曲」に、新しい魅力を感じてもらえたらうれしいです。それは、私の新しい挑戦でもあります。私より上の世代の方は、色々なジャンルの音楽を楽しんでこられた大先輩。まさに、今回のコンサートを思いきり楽しんでいただけたらと思います。40代、50代の方にも、「こんなジャンルの音楽もあるのか」と新しい発見をしていただけたらと思うので、ぜひ生で聴いて楽しんでいただきたいと思います。

### Gentle Forest Jazz Band with 神野美伽

あの頃の、ビッグバンドと、ブギウギと

2024. 5.18(土) @春日井市民会館



ジェントルフォレストジャズバンド

### Gentle Forest Jazz Band とは？

ジェントル久保田が率いる21人のビッグバンド。2005年の結成以来、踊れるスウィングジャズに現代的視点を盛り込み、新たなエンターテインメントを展開している大注目のジャズ・バンドです。



# みんなが楽しい 図工の時間



雨上がりの晴天、十一月にしては冷たい風が吹くなか、鷹来小学校の三年生が校庭の大クスノキをひもや布で元気いっぱい飾りつけました。校歌にも登場するこのクスノキは、樹齢百二十年を超える学校のシンボル。子どもたちにとっても、地域の皆さんにとっても自慢の木です。いつの時代も、みんなの成長を静かに見守ってきました。

「こんなに大きな木がある学校は、愛知県内、いや、世界中を探してもなかなか見つからないよ。クスノキに感謝して、みんなの世界にひとつだけの作品をつくろうね」

講師を務める林幸秀先生が呼びかけると、子どもたちは真剣な表情に。普段から見慣れている校庭の大木を、改めてじっくりと見つめます。

今回の「ひもと布でインスタレーション」(単元名:ひもひもワールド、ぬのをつないで)では、身近な場所でひもや布を結んでつなぎながら、思いついたことを試し、できた形や色の雰囲気味わう、という授業の目標が設定されています。インスタレーションとは、美術の用語で空間全体を作品にする表現方法のことです。自身もインスタレーション作品を制作している林先生の声掛け

は、この空間でしかできない作品づくりを楽しもう、とさりげなく意識させるものでした。

この日を楽しみにしていた三年生。材料を手になると、嬉しい気持ちを爆発させるように走り出し、班ごとに協力しながら次から次へとひもや布を結び付けていきます。夢中になって取り組む姿は、クスノキの存在感にも負けない大きなエネルギーの塊のようでした。最初は遠慮がちに毛糸をかけていた子も、クラスメイトの勢いが伝播したのか、どんどん大胆に。全員が作品づくりに没頭していききました。

途中、時間を区切って他の班の様子を見る時間も取りました。林先生がまた呼びかけます。

「この班の工夫、素晴らしい。どんなところが素晴らしいか、説明するね。ここ、屋根みたいになるまでひもをいっぱい使っているね。そこに、いろいろな布をたらしているのが面白いね。みんなも他の班の良いところを見つけて、自分の班に持ち帰ろうね」

自分たちの工夫に気づいてもらえる。具体的な言葉で、みんなの前で褒めてもらえる。友達の良いところを、どんどん真似していいと言ってもらえる。図工が得意な子も、そうでない子も、みんなが誇らしい顔で話を聞いていました。子どもたちの持っている自由な発想や創造力が、ほんの少しのきっかけで一気に解き放たれる瞬間に立ち会うことができました。

テキスト 浅井南(かすがい市民文化財団学芸員)

素直で元気な3年生。片付けも一生懸命に取り組んでいたのが印象的でした。図工の授業は、自分の気持ちを表現する大切な時間なんだと改めて感じました。



「やってみよう!」

春日井市内の学校を大募集

## アーティストとつくる「図工の授業」

事前の打合せで、図工の授業でのお困りごとや、児童のみなさんの様子をお聞かせください。各学校のご希望に合わせて、担任の先生と一緒に授業の内容や進め方、教材の選び方を考えます。授業当日は、教員経験のあるアーティストが専門性を活かして実技指導をします。担任の先生には、子どもたちへの声掛けなどの役割をお願いしています。まずはお気軽にお問合せください。(かすがい市民文化財団 担当:浅井 TEL0568-85-6868)

読書感想画の授業も

講師を派遣しています



画家の山田雅哉さんと「ことばから形・色」の単元で読書感想画に取り組む様子。

REPORT

2023.11.13(月) @鷹来小学校

3限4限[図工の時間/造形あそび「ひもと布でインスタレーション」(単元名:ひもひもワールド、ぬのをつないで)]

3年1組、2組のみなさん

講師 林 幸秀

かすがい市民文化財団  
エデュケーションアドバイザー / 造形作家

アシスタント 山田 雅哉 画家

安藤 シオン イラストレーター



## 子どもたちの感想

(アンケートより抜粋)

- 授業で自由にできたのがうれしかったです。
- とても思い出に残りました。
- みんなと先生たちとすごくよい作品ができた。
- 図工が好きになった。

春日井で観よう!

# 劇団四季ファミリーミュージカル エルコスの祈り



撮影：樋口隆宏

## STORY ストーリー

物語の舞台はユートピア学園。そこは、社会から問題児と決めつけられた子どもたちを厳しく管理・教育する学校でした。夢や希望、笑うことさえ忘れてしまった子どもたちの前に、ある日、心を持った1台のロボットがやってきます。「エルリック・コスモス」、通称「エルコス」。温かい気持ちで、子どもたち一人ひとりの個性を引き出していくエルコス。彼女のやさしい心に触れた子どもたちは、やがて心をひらき、仲間の大切さ、人を思いやる素晴らしさを知り、その瞳は輝きを取り戻していきますが…



撮影：樋口隆宏

エルコスの願いは  
たった一つ。  
子どもたちが  
素直な笑顔になれること。

## 公演情報

劇団四季ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」

2024.5.4 (土・祝) @春日井市民会館

詳しくはコチラ！

3歳から入場できます!

3月チケット発売



今回のテーマ /

ミュージカルを  
楽しもう!

# 子どもと楽しむ!

KIDS★PRESS 13

## 子どもたちの心を育む! 劇団四季 ファミリーミュージカルの魅力

子どものうちから、  
本物に触れよう!

劇中の歌はもちろん、  
音響や照明、衣装や舞台装置など、  
生で観るエンターテインメントが、  
子どもの五感を刺激します!

家族の  
コミュニケーションを  
豊かに!

「どのキャラクターが好きだった?」  
「どのシーンが印象に残った?」  
観劇後は、子どもと感想を  
話し合うのがオススメ!  
家族の会話も盛り上がります!

考える力を  
育てよう!

劇団四季のファミリーミュージカルには、  
「生命の大切さ」「人を思いやる心」など  
メッセージがたくさんつまっています。  
「私ならどうする?」「相手はどう思う?」  
舞台は子どもたちの  
想像力を育みます!

## 劇団四季とは?

約600人の俳優を含む1,400人が所属。年間2,900回の公演を行っている、世界的に見ても最大規模の演劇集団です。日本国内に専用劇場を持ち、ストレートプレイ(芝居)、オリジナルミュージカル、海外ミュージカル、ファミリーミュージカルなど幅広いレパートリーを上演しています。

名古屋四季劇場(名古屋市中村区)では5月12日(日)までミュージカル『キャッツ』を上演中!



# “もの”語り

#13



## 「アメリカ小ニ重奏曲」の楽譜



語り手

神戸結花 (写真右)  
松原未弥 (写真左)

(かすがい市民文化財団若手音楽家  
支援事業登録アーティスト  
「ルピナス」フルート奏者)

春日井出身で同い年。学校は違いましたが、それぞれの吹奏楽部で練習を重ねました。フルートは吹き込む息の半分で音を鳴らし、もう半分は“無駄”になるので、始めた頃は酸欠でふらふらになることも。名古屋芸術大学音楽学部で出会い、二人で初めて演奏したとき手にしたのが、この楽譜『アメリカ小ニ重奏曲』(ドップラー作曲)。アメリカ国歌やアルプス一万尺など、馴染みのメロディで楽しく聴いてもらえる曲です。2年前、ピアノの佐々木唯道さんと3人で、かすがい市民文化財団の若手音楽家支援事業登録アーティストに応募した時も演奏審査はこの曲でしたから、ルピナスの原点になる楽譜です。

登録アーティストになり、「かすがい どこでもアート・ドア」では、小さな子どもさんの前で演奏する機会も増えました。瞳をキラキラさせて聴いてくれる姿に、私たちが癒されます。これからも、“いつも幸せ”というルピナスの花言葉のように、皆さんに幸せ溢れる音楽を届けたいと思っています。

ルピナスが出演!! .....  
声を上げても、泣いちゃっても大丈夫! 親子で気軽に音と触れ合う30分間  
**親子のための初めての音楽会 vol.12**  
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム  
2024年3月15日(金) ①10:00~10:30 ②11:00~11:30

取材・テキスト

芳賀 倫子 (日本自分史センター相談員)

芳賀先生の自分史相談

無料/ 毎週火曜日 13:00~17:00  
要予約 文化フォーラム春日井にて



聴き書き  
自分史  
とは?

語り手の話に耳を傾け、  
本人に代わって書く自分史です。



# FORUM PRESS LIBRARY

フォーラムプレス  
ライブラリー

文化フォーラム春日井で読めます!!

かすがい市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

プロデューサー小松淳子の  
このマンガを読め!!



筆先の  
エトワール

ドガの名画「踊り子」誕生につながる…?

19世紀のパリ・オペラ座。バレエは当時、パトロン無くしては成り立たなく、“娼館”と揶揄されていました。ダンサーとしてそこで働く主人公・エマは、「踊ると周りが見えなくなる」性質で伸び悩み中。そこへ、エドガーという画家が現れて…。

このエドガーとは、バレエを題材に「踊り子」などの名画を残したエドガー・ドガ。漫画ではまだ駆け出しの青年ですが、エマとの関わりで、これから彼の才も伸びていくのでしょうか。この漫画では、バレエの演目『海賊』を取り扱っているのですが、この演目を取り上げるのは珍しく、数あるバレエ漫画作品の中でも初では!? と思います。有名な『白鳥の湖』などのクラシック・バレエはこの後のロシアで誕生するので、それ以前のフランスのバレエをどう描いていくのか、そのあたりも注目しています。



鴨まどり/白泉社

異聞風土記  
1975-2017



プロデューサー山川愛の  
自分史「この一冊」



著者: 尹雄大(ユン・ウンデ)  
晶文社 2020年6月30日初版

息をしている(た)人々と、その街を綴る

1970年という、高度経済成長期に生まれた在日韓国人三世の尹さんが、暮らし・歩いた土地と、そこで出会った人々について記した本書。

尹さんは「どうしても見落とせないことがある」と言う。例えば、幼い頃に住んでいた“おしゃれでエキゾチック”な神戸。デパートへ向かう陸橋には、傷痕軍人がムシロに座っていた。刹那には見過ごしてしまいそうな残像が、つまびらかに記されている。その細部に、熱をまとったもう一つの歴史があるからだ。

生暖かい息のような文体で綴られる著者の流転は、阪神大震災・東日本大震災を経てなお続く。その追体験からは、忘れていた「私=読者(あなた)の物語」を手に入れられるかもしれない。

# みんなの ひろば 12

FUJIMOTO  
TAKUMA



文化フォーラム春日井や  
春日井市民会館は、  
春日井の文化をつむぐ  
「みんなのひろば」です。  
そこに集う人々を紹介します!

「身近な音楽に発見や感動が」

クマカフェマスター

## ふじもとたくまさん

### アマチュアミュージシャンたち 春日井市民会館に集まれ!

「何の変哲もない日常を歌うから、誰にも心当たりや共感があるところかな」とアマチュアミュージシャンが奏でる音楽の魅力を語ります。自身は「音楽は全くの素人」ですが、これまでに三度、多様なミュージシャンが一堂に会する音楽イベントを春日井市民会館で主催してきました。

当初は自身のカフェをライブ会場として開放していましたが、コロナ禍で状況が一変。感染対策を徹底して続けましたが、次第にカフェの経営にも影が。その窮地を支えてくれた「音楽家たちに発表の場を。音楽で春日井を盛り上げた」と、市民会館での開催に思い至りました。さらに、「市民会館のスタインウェ

イピアノ開放に参加した仲間と味わった大ホールの高揚感をもっと多くの人と共有したい」との思いも背中を押しました。  
四度目となる今回は、誰もが参加できる「オープンマイク」。「先入観や思い込みは横に置いて飛び込んでみてください。新しい世界に出会えるかも!」と呼び掛けています。



様々なミュージシャンが演奏する  
春日井市民会館のステージ

ふじもとさんからの

お知らせ



## 第2回 しらくま大オープンマイク

@春日井市民会館

2024年5月11日(土)  
10:00~21:00(9:30開場)

詳しくはコチラ 0568-27-6690 [Instagram]

映画「カンタ! ティモール」の上映もあります(18:00頃~)



## 第43回(令和5年度)春日井市短詩型文学祭の作品紹介

たおやめ×ますらお!?

今回ご紹介する田本悠馬さん・友佳子さんは、ご夫婦で特別賞を受賞されました。互いに作品を見せ合いますが、やわらかな歌を詠む悠馬さんと闊達な歌の友佳子さんは「いわば、たおやめ」と、ますらお!?!  
流派が違いうから感想は伝えても干渉はしない(田本夫妻談)そうです。

きみがいた三年のこと

「も」と「しか」の間に悠かな夏の風吹く

「スズキ様、漢字はどう書かれますか?」  
「あつ普通の『鈴木』です、ただの」

「三年も、三年しか。一語の違いで意味が大きく変わること、人の気持ちもちよっとしたことで違えるかもしれないという想いを詠んでいます。『悠かな夏の風』は、心の距離や時間の長さを象徴しつつ爽やかさを込めました。言葉で表現することが好きという悠馬さん。大学生の頃から小説やエッセイなども書いています。「これからも、当たり前すぎて気に留めないような些細なことの中にある感動や発見を、分かりやすい素直な言葉で表現したいですね」



たもと ゆうま  
田本 悠馬

28歳。  
短歌・一般の部で市長賞。

「とても一般的な苗字(旧姓)ですから、22歳で初めて訊かれて、不意を突かれたというか、ほかにあるの? って、驚きと戸惑いを抱えながら答えていました。いまは田本姓ですから、一生に一度の貴重な体験です。高校教諭の友佳子さん。「教えるだけでなく、自分も詠んでみよう」と、『はじめての短歌』(穂村弘)などを読み、たしなむように。「短歌って人間性が出ますね。仕事柄なのか? 語り口調になりがちで…。でも背伸びしないで詠んでいこうと思います」



たもと ゆかこ  
田本 友佳子

28歳。  
短歌・一般の部で文化協会賞。

お知らせ

第43回 無料配布

## 春日井市短詩型文学祭 作品集

※数には限りがあります。  
なくなり次第、配布終了となります。

各部門の入選作品を掲載した作品集を無料配布しています。

配布場所

文化フォーラム春日井/市役所情報コーナー  
春日井市東部市民センター/各ふれあいセンター/各公民館







## 昼コン 入場無料 4月の五重奏

2024年の昼コントップバッターは、セントラル愛知交響楽団の主力メンバーが室内楽の名曲をお届けします。

【演奏予定曲】シューベルト  
ピアノ五重奏曲「ます」より ほか

【出演】寺田史人、依田郁子、本橋裕  
榎原利修、榎原祐子

2024.4.13(土) 14:00~  
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



©2021FIRSTSTEP-DARKAMOVIES-STUDIOCANAL-C8FILMS

## かすがい日曜シネマ 「テノール! 人生はハーモニー」

芸術の中心地パリ。一流のオペラ教師にその美声を惚れこまれ、オペラのレッスンをすることになったフリーターのラッパー。不思議な出会いが、2人の人生を変えていく。奇跡のヒューマンドラマ。

2024.2.18(日)

①10:15~ ②13:30~

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

2024.3.3(日) 13:30~

@春日井市東部市民センター



## ハンバート ハンバート 「ハンバート家の新学期」

注目のデュオが春日井初登場! 「別れ」や「コンプレックス」をテーマにした歌詞を、フォークやカントリーをルーツにした楽曲に乗せて紡ぐ独特の世界観は必聴です。2/10(土)から文化財団友の会の先行予約がスタート! 詳しくはHPまで。

2024.4.13(土) 15:00~

@春日井市東部市民センター



## クリスマスワークショップ 「ステンドグラス風 ランタンを作ろう!」

2023年11月26日(日)  
@文化フォーラム春日井

今回の  
担当レポーター  
紀 瑠美

# 体験レポート

行ってきました!

市民レポーターが  
かすがい市民文化財団の  
アレコレを紹介!

REPORT NUMBER 504



他のレポートは  
コチラ!

## 手作りランタンで、 楽しいクリスマス

会場には、小さなお子さんが多くてびっくり。サンタ帽の子もいてワクワク。「昨年も参加して良かったから」というリピーターさんの言葉に、ますます楽しみになりました。

ガラス造形作家の田口友里衣先生から作り方を聞いて制作開始。まず、ガラスドームの内側にガラス絵の具を塗ります。筆は使わず、回したり傾けたりすると、ゆっくりに流れて混ざり合い、美しい模様になります。黒ペンで線画や模様を描きます。「線のために描くと光が透過した時、影がしっかりと出て美しいですよ」と教わりました。完成した人から、フォトコーナーで記念撮影。「いいね! かわいい!」という財団スタッフさんの声に、子ども達はポーズをきめて、ここに。一緒に写る個性豊かなランタンたち。夜になって光を灯したら、どう映るのでしょうか。想像しただけで楽しくなりました。ガラスドームのランタンは自宅に、アクリルボトルのものはクリスマスまでスカイフォーラムに飾られました。

**特撰落語会** PR  
**林家たい平独演会**

テレビでも人気の落語家、林家たい平が春日井に! 2/11(日・祝)より、文化フォーラム春日井2階・チケットカウンターにてチケットを発売します。

2024.5.12(日) 13:30~  
@春日井市民会館

【料金】一般 3,700円  
PiPi会員 3,300円  
(税込・全席指定・未就学児入場不可)

【主催】エイフル企画 0120-241-052



## 音楽の祭典! アトリウム音楽祭 -春-

春日井市内外で活動されている音楽団体の皆さんが、日頃の練習の成果をステージで発表します。様々な音楽が楽しめる2日間! お気に入りの団体を見つけてみてください。出演団体など詳細はHPで。

2024.3.16(土)、17(日)

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム  
入場無料



## スペシャル ワンコイン・コンサート 井草聖二

《ギター・ノスタルジア》なつかしの名曲ギター1本でメロディー、リズム、ベース、ハーモニーの4役を演奏。国内外で活躍するアコースティック・ギターのホープの演奏を500円で!

【演奏予定曲】

カントリーロード/ジョン・デンバー

I Want You Back/ジャクソン5

Change The World/エリック・クラプトン ほか

2024.3.20(水・祝) 13:30~

@春日井市民会館

## 読者アンケート

今回の「広報誌FORUM PRESS」はいかがでしたか? 感想やご意見をお寄せください。回答はQRコードから。抽選でプレゼントもお届けします。回答の締め切り:2024.3.19(火)



## 今回のプレゼント

「Gentle Forest Jazz Band with 神野美加 あの頃の、ビッグバンドと、ブギウギと」(2024/5/18(土)16:00~@春日井市民会館)のチケットを2組4名様プレゼントします!プレゼント不要の方もご回答いただけるようになっています。



## お知らせ

ご愛読いただいています「広報誌FORUM PRESS」は次号よりリニューアル!これまで以上に、みなさんが「知りたい!」春日井の文化芸術の耳寄り情報をお届けしていきたいと思っています。次号発行はチョット間が空いて、6月(予定)になりますm(\_\_)m(三宅)

当日は幅広い世代の方にご参加いただきました。「絵や模様を自由に描いて」と言われると、大人は悩んでしまっって、なかなか進みません。子どもたちは、目を輝かせてクリスマスツリーや似顔絵、模様を描きました。こうして完成したランタンたちは同じ材料から生まれたと思えないほど個性豊か。一人ひとりが考え抜いて自由な発想力で作り上げた「世界に一つだけ」の光は、いっそう輝いて見えました。

クリスマスワークショップ  
「ステンドグラス風ランタンを作ろう!」  
担当

**服部 有沙**  
ほっとり ありな

「担当スタッフの」  
**よもやまばなし**



誰もが心地よい  
音楽を

あの人と、  
春日井と

## 原田綾子 ピアニスト

### 共演者の魅力を 引き出す

「それぞれの『良さ』をつなぎ合わせて、最良の音楽を届けたい」と原田さん。これまでに、山本裕康さん、佐古健一さんら春日井ゆかりの弦楽器奏者や名フィルのメンバーなどとも共演を重ねてきた。ピアノ・ヴァイオリン・チェロの三重奏（ピアノトリオ）では、同じ音域でも音の強さや太さ、響きなどが楽器ごとに異なるため、共演者の表情、目や体の動き、息づかいまでも感じ取って、音を「減らす」。こうして生まれる原田さんのピアノシモ（pp）は的確に耳に届き、弦楽器の澄んだ音色を引き立たせる。2002年には、ベルリン交響楽団のソリストとして来日したヴァイオリニスト、ユーリ・ブラジンスキーのリサイタル・ツアーに共演ピアニストとして参加し、その対応幅の広い技術と繊細な表現力が高い評価を得た。

求めているのは、「気がつく、そっと傍らに寄り添っているような優しい音」。そして、聴いている人も、演奏している私たちも、気持ちのいい音楽

### 華やかさの裏で

2003年に大学院を修了し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。ウィーンと並ぶ音楽の都・ブダペストには世界中から音楽家たちが集まってくる。皆が、難しいテクニックが要求されるリストの曲を難なく弾き、教会やホームコンサートなど街のいたる所でピアノトリオの調べが聴こえる。日常生活にクラシック音楽が溶け込んだ環境に「すべてが新鮮で、感動ばかりしていました」

しかし、親と約束した留学期間の1年は「驚くほど早く」過ぎようとしていた。目に見える成果を上げなければならぬと決意



して臨んだ2004年のヴァレンティノ国際音楽コンクールで第一位に輝く。「賞を狙って演奏したのは人生初でした」と柔和な笑みを浮かべて振り返るが、重圧を背負って練習したのも初めての経験だった。

「曲を仕上げるためには莫大なエネルギーを要します。閉め切った部屋で頭を抱えながらピアノに向かう姿は人には見せられません」。今も本番前は「のめり込

んで没頭する」が、このプロセスを積み重ねることで、「本番では普通じゃないアドレナリンが出る」という。

### 純粋な音楽への愛

帰国後は演奏活動に加えて、名古屋音楽大学や同朋高校音楽科などで後進を指導、自身の教室では子どもから大人まで幅広い世代に教えている。「美しい音色って、やらされていては出ません。本人が楽しむことから意欲が芽生えます。まずは自分の手で『きれいな音』を出す喜びを感じてほしい」と願っている。

さらに並行して結婚、出産、育児とも向き合った。「子どもが小さい頃はどの親も睡眠不足になる、という当たり前のことさえ甘く見ていた」と回想するが、ピアノを離れる選択はなく、育児のわずかな合間を縫って弾き続けた。

今後の活動を尋ねると、「クラシック音楽が日常に根付くことを目的としたコンサートの企画も手掛けたいと思っています。自分が素敵と感じる音や曲、つまりは音楽の素晴らしさを多くの人たちと共有したいんです。一緒に音楽を楽しんでもらえたら、この上ない喜びです」と、はにかんだ。そこには、原田さんが奏でるピアノシモのような心地よさが覗いていた。

1979年生まれ。春日井市出身、在住。名古屋市立菊里高校在学中にピアノトリオ結成、愛知県立芸術大学-同大学院在籍中にはソロ活動でも高い評価を得る。ハンガリー、イタリア、フランスなどでソロリサイタル。2009年名古屋市民芸術祭審査員特別賞受賞など国内外での受賞多数。



原田綾子  
Harada Ayako

## お知らせ おいでよ アート・ドア ピアノ三重奏めぐり逢い

2024.3.10(日) 13:30~

@文化フォーラム春日井・  
ギャラリー



出演

瀬木理央(ヴァイオリン)  
佐古健一(チェロ)  
原田綾子(ピアノ)



### コラム

原田綾子と、春日井と  
「東部市民センターの壁画」  
5歳の時、春日井市東部市民センターで初めての発表会に出ました。とても緊張した記憶がありますが、一番の思い出は、お友達とロビーにある壁画の人の形と同じポーズをして、「遊んだこと。いまもホッとしたり気持ちにしてくれます。」

## チケット予約・購入

3つの方法が選べます



窓口

文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター  
(休館日を除く、9:00~17:00)

春日井市東部市民センター2階・事務室  
(12/29~1/3を除く、9:00~17:00)



電話

0568-85-6868 9:00~21:30

友の会PiPi専用

0568-85-6078 9:00~17:00



WEB パソコンやスマホから、  
かんたんアクセス

予約

[www.kasugai-bunka.jp](http://www.kasugai-bunka.jp)

にアクセス。

※事前のWeb会員登録(無料)が必要です。  
※PiPi会員はIDとパスワードでログインできます。



支払

- 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- クレジットカード決済

発券

- 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- 配送(※手数料あり)

## 学生の特券

幅広いジャンルの公演や展覧会を、小中高生に  
低価格で楽しんでいただけるサポート制度。  
詳細は文化財団のホームページへ。



## 文化フォーラム春日井 春日井市民会館

公益財団法人かすがい市民文化財団  
TEL:0568-85-6868

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

[休館日]  
月曜日(祝休日の場合は翌平日)  
12/29~1/3

[かすがい市民文化財団HP]  
[www.kasugai-bunka.jp](http://www.kasugai-bunka.jp)



## FOLLOW US

かすがい市民文化財団の公式アカウントです。



@kasugai\_bunka



@477kdncp



## ACCESS 交通のご案内

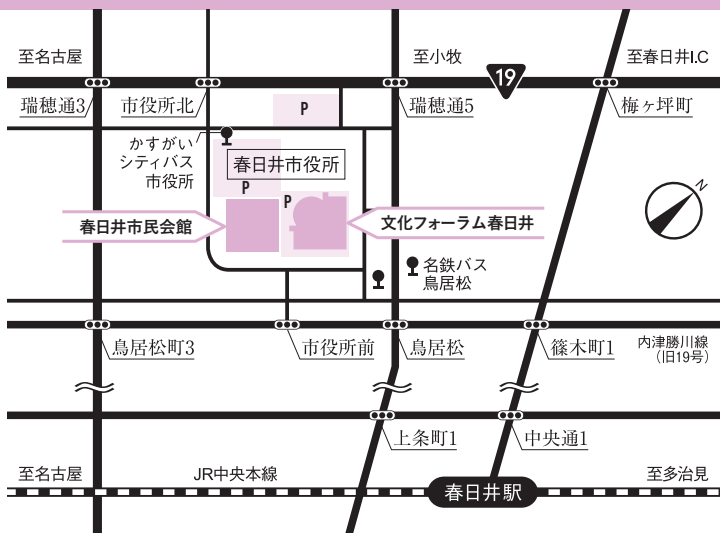
JR中央本線「春日井駅」北口より

- ・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方

- ・「市役所」下車すぐ

駐車場は混雑が予想されます。  
なるべく公共交通機関や  
乗合せをご利用ください。



やむを得ない事情によって  
イベント内容が変更になる場合があります。  
最新情報はかすがい市民文化財団のホームページでご確認ください。



公益財団法人  
かすがい市民文化財団